

ミス・マクミラン・ナーセリー

スクール

宇佐美ケイ

ロンドンの端、貧民窟の中央にある。教へられた小路をはいると低い汚い一寸日本の長屋といった感じのする建物の上部の壁に、マクミラン、ナーセリースクールと書いてある。餘りに小さいので疑ひながら路ゆく人に聞いて見ると其處だといふ。入口を教へられてはいる。板圍の粗末なものである。此處を訪ねた頃は十一月半ばの所謂ホツギムーンで来る日もくも霧の深い寒い日であつた。木造平家建の粗末な建物が五つに分れてその二つはやゝ低い地所にある。外からの感じからすると中は割合に廣く相當の庭がある。(案内された時間より早いので外に立つて見てみると他にぞろ／＼と大勢の參觀人が後から／＼と来る、所謂今日が參觀日なのである十一月十三日水曜日)可愛い人達がすっかり朝の化粧がすんで、水色やピンクのガウンを着、それと同色のリボンをつけて、お部屋に集つたところ。朝食を取らずに母親に送られて来る子は此處でいたゞく。

最初はいつて見たのは横長い建物で三室を通して使つてゐる。三歳から五歳までの幼児が五十人此建物の中に居る。ストーブが三つある。部屋の周圍に棚があつて種々の人形や花が澤山のつてゐる。子供は

如何にもさつぱりとして血色も皆よく、愉快そうな、然も粗暴でないところがとても貧民の子供とは思へぬ。ガウンは毎朝洗濯したものに着かへさせ決して二日着せることはないといふ。せまい附屬した部屋に手洗が三個所あり、各自のタホルと小さい切とが番號の下にかゝつて居り、更に齒ブラシと櫛とが其處にかゝつてある。此設備は各建物に皆ついでゐる。幼兒全體三百五十人の中八十人が學齡兒、午前十時半から五時半まで預る。自然朝食前に來るものもあるわけになる。庭は清くはき清められ花壇があり、薔薇のトンネルがある。廣い平坦な場所に英國特有の小鳥の行水の鉢が二つ置いてある。鳩が澤山ゐる鉢の縁にとまり、四羽位一度に中よく行水をしてゐる。

先生が十數人の子供を引きつれて鳩に餌をやつてゐる光景は遠くから見てもいへぬ。二歳三歳のごく赤ちゃん組、三歳から五歳の組（最初見たもの）五歳のみ組など四つの建物に別れてゐる。

一つの部屋で、其處の大方の子供は皆きれいに仕度が出来たが一人耳に腫物が出来てゐるらしく、先生がブラシで髪をといいたあと薬をつけてやつて居られた。薬箱はお菓子明箱である。子供は鼻をよく紙を一枚づゝ先生から貰ひ皆鼻汁をとる。先生が屑籠を持つて來られる。それが圓筒形のお菓子の明箱であつたりするがの實に嬉しい。

トウレニングカレッツの學生は水色の木綿の洋ふくで頭に同色の切を普通のナースの様にかぶつてゐる。

一寸此處にカレッツの事を附記する。

高等女學校卒業後二年間の修業で皆ナーセリースタールの先生になるので普通の家庭に雇はるゝナー

スにはならぬ。學生は皆四ヶ所の寄宿舎に分宿してゐる。今立派なカレッジの校舎が建ちかけてゐる。學生は現在四十人で一ヶ年一人の學資が八十ポンド、日本金八百圓、宿費總てを合算してである。學生が皆眞劍で先輩の指導の許に實際に子供の世話をしてゐる、所謂實習をしてゐる。

十時半頃から一せいに各部屋とも仕事にかゝる。二人或は四人の机を任意の位置に並べる(遊戲の時は全部とりのけ食事の時はこれが食卓になる)、實に熱心にだまつて思ひ／＼の玩具で遊んでゐる。何處へいつて參觀しても感ずる事であるが英國の子供はちしやべりをしない。玩具はモンテッソリーの教具に似たものもありまたフレイベルの恩物もある。然し玩具は皆此處で考案されたものだといふ事で面白と思ひ、また參考になつたものが實に澤山ある、かうして部屋で一定の時間子供に與へるものは皆文字、或は數の學習を加味してゐるものであるが、フランスの幼稚園で見たものとは趣きを異にしてゐる。特に計へ方の稽古を遊びの中に始める事に非常に工夫がこらされてゐる事が著しい。それに玩具が皆よく使ひ古したものであるが失せて居らない、例へば一つの動物や、けしきを種々な線できり離されてゐるのを組み合せて行く玩具など實に古いものであるがどの子供のもしつかり揃つてゐる。私共のはかうはいかぬと實に大事に取扱はれてゐることに感心する。

遊具の二三を摘録すると、(文字の方で)子供らしい繪の書いてある紙に例へば赤い窓の家が描いてあつて其繪の下に「あの家の窓は赤い」と書いてある。同じ文字のカードを探して其の上に重ねてゆく、など。(計へ方の方で)長方形の臺の上に棒が立てゝある、その棒の根元に1、2、3、と數字が十まで書いてある。其數だけの金の輪を通す遊び、これに類似の玩具が實に多種ある。

遊戲は律動遊戲、動作遊戲、可愛いものを澤山觀た。正十二時ランチである。午前のランチがないの

で普通よりは一時間早。

みんな手を洗ひ、髪をくしけずるテーブル掛のかゝつた卓につく。一人一人可なり丁寧にシャボンをつけて手を洗つてやる。拭ふのは自分でする。テーブルの用意は交代に子供がすることになつてゐる。先きに仕度の出来た子供はおとなしく待つてゐる。其間約三十分、一同揃つて食前の感謝の歌を歌ふ。皆兩手を合せて、實に涙ぐましい光景である。各テーブルに六人位、それに一人の給仕人がつく。給仕人は（勿論當番幼兒）まづ小さいトーストのかけらを一つ宛配る。やがて香のいゝ馳走が大きいニユームの鑪にいで中央料理場から運ばれた。中に澤山ポテトがはいつてゐる。先生かよくその大きいのをくださませてどろ／＼のよいしそうなシチューを深皿に適度に盛られたのを給仕人が大きい匙を添へて持ち廻る。皆緊張した顔で見守つてゐる。順々に上手に自分の皿にとる。足りなくなるとまた鍋から先生にうつしていたゞいて來て順々に給仕する。給仕人はご馳走が深皿に少なくなつてやつと一人分位になると匙でよくかき集めすくひあげて差し出す所など正に本格の給仕人である。其仕草に丁度私と並んで參觀してゐた一米國婦人と思はず顔を見合せた事である。中に一人やせた弱そうな男兒がテーブルスプーンで何杯かお皿にあふれるほどとつた。お腹がすいたのであらう。給仕人も何もいはず同じテーブルの子供は勿論、先生も一こともいはれぬ。私は多分残すであらう。大人でも一寸あれだけはいたゞかれないと思つて見てゐた。お給仕がすつかりすみ、給仕人が食卓について皆一せいにたゞ始める。すつかり給仕人がすんでからたべるのは英國風ではないが此方がよいと思ふ。よいしそう、嬉しそう、果せるかな先きの男兒は皆がすんでもまだ中々である。しかしすつかりたべた。苦しかつたであらう。この兒はこの失敗を二度は弱りかへすまい。先生が傍からちと多すぎはしませんか、など注意しないところに

經驗による教育がある。普通なら一寸口を出したいところだがと感心する。

ランチの後、皆外に出て散歩位して午睡が始まる。二時に醒めて髪を櫛す。軽いお八つ、牛乳にビスケットの小さいのを二ついたゞき洗面して三時半から四時半まで手技、遊戯などして五時十五分前から五時半迄の間に父母兄弟の迎へをうけて皆歸る。

ナーセリースクールの經濟の事をたづねた。ミスラクミランの私財で創立したもので、二歳―五歳までの子供の食事のためにロンドン市參事會から、他の一般の此種の學校と同様の補助をうけてゐるが他は全部自給自足である。故に何等の拘束をうけない自由の學校である。小學校の方も他からの子供を交へず幼稚園から進むものだけである。

ミスラクミランは英國の女子教育家として有名なばかりでなく保育事業をする世界の同勞者の尊敬をうけてゐる偉大な先輩である。其の指導と訓練の下にある若き先生方、養成所の學生も質朴にして眞面目。幼兒も他の幼稚園に比して其の健康状態、その他の點に於て可なりの相違がある。その凡ての點に於て貧兒とは思へぬ落ちつきと柔順さ、快活さ、私はこれ等の幼い人たちを何といふ幸福な子供たちであらうとしみじみ思つた。此種の事業として最も勝れたもの、ことにその内容全體に於て他に類を見なかつたほどである。

前述の如く建物は實に粗末であるがよく整頓し、食物調理場の如きは實に清潔である。如何にも行き届いた主婦の支配下に一絲亂れず整頓した大家族の感がある。私は此處で幾度か、野口先生の經營されてゐる東京の二葉保育園を思つた。日本に此種の兒童保護事業が多く興らん事を祈つた事である。

ミス・ラクミランの馨咳に接する機會を遂に得なかつた事を今も残念に思つてゐる。